



第7回 産学官連携サミット

(2007年11月26日)

産業界が求める人材育成を産学官連携で！ ～ 立命館大学からの提言 ～

立命館大学
学長 川口 清史

1

大学改革の視点

- ・ グローバル化社会に求められる人材
 - ・ 国際感覚を有する幅広い基礎知識・語学力を身につけた人材
 - ・ 次世代を先導する専門知識・先見性を有する人材
 - ・ 組織を束ねる指導力のある人材
- ・ 現状では先端産業の担い手である博士教育が重大課題: 教員・学生の博士の狭義な意識
- ・ 本学では博士教育の改革を優先 : 産業界の期待に応える人材教育
 - ・ 幅広い基礎教養・語学力学修の強化
 - ・ 世界最高水準の教育研究拠点形成による研究力の強化
 - ・ 産学連携による教員・学生の広義な意識の高揚
 - ① 産業界の課題の早期把握(実学習得)
 - ② 生きた課題に挑戦、解決へのメソッドロジーの習得
 - ③ 研究開発マネジメント、マーケティングの効果的手法の体験

2

具体的な博士教育改革の取り組み

A. 修士課程と博士課程の一貫教育. 学部卒業後**最短3年**で博士号学位取得促進
→ 若い人材の産業界への輩出

B. I 型教育 → T 型教育での人材育成への変換

(I 型教育 : 従来の論文発表数のみに重点を置いた狭義な博士教育)

- ・ T 型教育 : (**将来性を見据えた** 幅広い**基礎学問教育**) +
(博士研究論文作成により**専門分野知識**および課題解決法の習得)
- ・ 海外大学への短期・長期留学 : グローバル化に対応出来る**語学力**の習得
- ・ 企業連携強化→実学習得(企業の研究開発における入口から出口までの連携)
 - ・ 企業課題を博士論文テーマに選択可能
 - ・ 企業からの博士審査評価(評価者として参画)の導入

立命館大学 産学融合ラボラトリー構想(生命科学部・薬学部)³

産学融合ラボラトリーの構想

